

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム ゆうあい	評価実施年月日	H19年5月
評価実施構成員氏名	1F 瀬川 照山 小坂 小林 寺田 栗山 寺尾 阿部 2F 瀬川 村山 國吉 原田 若森 鹿原 長船 3F 瀬川 西村 井上 伊藤 長岡 伊藤 深代 滝澤 桜庭		
記録者氏名	瀬川	記録年月日	H19年5月25日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

☐ は外部評価項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念の共有				
☐	1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	作り上げている。		地域の中で残存機能を活かしその人らしく生活できるよう買い物、散歩、ボランティアとの交流をしている。
☐	2 〇理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念を共有し取り組んでいる。		その人らしく生活できる明るく楽しい環境を作り出している。
☐	3 〇家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	家族や町内会、公共施設等に説明している。		家族へは理解してもらえる様常に説明しているが地域の人々には浸透されているとは思わない。
2. 地域との支えあい				
☐	4 〇隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	挨拶、商店の利用、他グループホームへの声かけをしている。		気軽に立ち寄ってもらえている。
☐	5 〇地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	総会、清掃活動へ参加している。	○	地域の方々の認知症の人への理解と受け入れがもう少しほしい。
☐	6 〇事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	シルバーのボランティア受け入れや夏祭りへの参加を呼びかけている。		囲碁 書道等のボランティアの受け入れで一緒に食事を楽しんだり夏祭りへ参加していただいている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価後話し合い改善に取り組んでいるが職員全員には理解されているとは思われない。	○	環境づくり評価後の改善を職員全員に理解して改善に取り組んでもらう必要がある。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議ではなく各家族の日々の意見を活かしてサービス向上に活かしている。インターネットでの開示も好評である。H19. 10には町内、地域包括、民生委員などの方々も参加していただき運営推進会議開催予定である。		家族会等の必要性はアンケートをとったが改まった会は必要ないとの事だったが運営推進会議は利用者の抱え込みを防止なども踏まえ開催していく。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	指導や連携を図りながら日々向上に取り組んでいる。		市町村の指導に基づきながら受容に答えている。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	全員で学ぶ機会をもうけていないが活用できるよう支援している。(窓口を一本化している。)	○	今後は検討する。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部の勉強会での講義には参加している職員もいるが施設での勉強会は行っていないが日々の生活の中で全員が状態変化に気づく注意をしている。言動についても誤解を招かない様本人や家族と話し合いや説明をしている。		特に身体観察に注意しサービス内容は統一している。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明をし理解を得ている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見、不満、苦情を受け入れ改善している。		その都度対応なされている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	インターネット等で開示している。		好評である。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見を受け入れ反映している。現在まで不満、苦情等はない。		受診、入院中の対応(見舞い 洗濯等)
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営者が直接意見や提案を聞く機会を設け、必要に応じて反映させている。		その都度対応。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	柔軟な対応に向けた勤務調整に努めている。		管理者と職員が共同で対応している。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	最小限に抑える努力はしているが個人の色々な問題で離職、異動は免れないが利用者へのダメージ防止には配慮している。		普段から他ユニットへ出掛け馴染みになるよう係っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	取組みしている。		民介協等の勉強会などの活用。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	他へ訪問したり夏祭りへの誘いをしている。		民介協のレベルアップ研修参加。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	取組みしている。		個別に傾聴している。
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	努めている。		努力、実績、勤務状況を把握し評価している。
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	している。		繰り返し話す事へも傾聴している。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	いる。		傾聴する機会をつくり受け止めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	努めている。		その都度対応している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	工夫している。		納得後ならし利用をしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	支えあう関係作りをしている。		できない所だけ援助しながら喜怒哀楽を共にしている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	常に関係作りをしている。		いつでも、何時でも面会していただいて日々の状況説明し共に支えあっていきたい事を再度説明している。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	いる。		支援により相方に良い関係ができている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの場所への支援はできていない。	○	家族の協力で可能になると思われるが、ほとんどが区外なので年数回である。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	努めている。		会話のコミュニケーションが取れる様支援している。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	いる。		入院時から1ヶ月までは断ち切らないよう説明している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	努めている。		ケアプラン作成時、希望、意向を聞いている。 困難時は家族と話し合いその都度、把握し対応している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	努めている。		本人や家族からライフヒストリーの聞き取り等して 今までの生活の継続に努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	努めている。		その都度、現状を把握し、一人一人に 合った暮らしができるようにしている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人、家族の意向を入れている。		本人の意向を優先して、できている事の継続 に向けての作成にあたっている。 (本人+家族+スタッフ)

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	急変、特変でない限り継続している。 (3ヶ月)	○	今日できた事が明日できなかつたり今日できなかった事が明日できたりで、日々変わる事では計画見直しをしていない。 (関わり方、関わる人でも違う)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	気づきや工夫は記入されていず、口答で情報を共有して見直しに生かしている。	○	実践結果、気づき工夫を記録にして情報を共有しながら計画の見直しと実践に生かしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	していると思われる。	○	計画に基づいて柔軟な支援の必要性がある。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	教育機関との協働はなかなか難しい、ボランティア、警察、消防との協働はできている。		習字、囲碁等のボランティアは受け入れて、消防との非難訓練もできている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	している。		デイサービスや自立支援に向けての必要性に応じて話し合いをしている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	本人や家族の意向がないので今の所活用されていない。	○	今後、自立支援に向けて活用されれば良いと思う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	している。		必要に応じて行っている。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	している。		必要に応じて行っている。
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	している。		必要に応じて行っている。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	している。		必要に応じて行っている。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	している。		必要に応じて行っている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	している。		必要に応じて行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	本人、家族の希望で住み替えになった時は速やかに情報提供を行い満足した日常が送れるように努めている。		十分な話し合いで、本人にとってベストな日常であれば自立支援や住み替えができる様、協力している。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	プライバシーを損ねることは個室で他職員同席、家族同席で対応し記録等個人情報についても徹底している。		難聴者への対応を検討する。 (字が読めず筆談も難しい場合)
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	ケアプランに希望の表出したり日常自己決定して暮らしていく為の支援をしている。		自己主張しわがままに今までの生活を変えずに生活できている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者優先で個別対応の支援をしている。		ケアプランに基づいて、その日をその人らしく過ごせる様、協力している。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人や家族の希望を取り入れている。		身体的な事も含めて、家族から理解を得たり、相手の希望通り近所の店に行ける様支援している。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	好物を取り入れたり盛り付け、後片付けをしている。 ※調理に参加促すも「今までさんざんやったからもういい」との拒否があるのが現状です。		全員が外食や高級な物をとても喜ぶ為、時々外食をしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	タバコに関しては指定の場所をお願いしている。		必要に応じて行っている。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の状態に合わせカンファレンスを行ないケアプランにも反映させている。		必要に応じて行っている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴拒否のある方にはある程度入浴ペースを考え促している。		必要に応じて行っている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	している。		必要に応じて行っている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	ライフヒストリーなどの過去の生活歴をもとに役割、楽しみごと、気晴らしの支援している。		必要に応じて行っている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物を頼まれてもなるべく一緒に買い物に行き自分でお支払いして頂いたり、普段買い物をしない方々には施設前で毎年行っている夏祭りでおこずかいをお渡しし自分で物を買って食べたり飲んだりする楽しむ場をもうけている。		必要に応じて行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	買い物、散策、散歩等その人のレベル希望に添って出かける支援をしている。		車椅子、歩行不安定の人も出かける様、支援している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	自宅へ行ってみたい人には家族協力を促し実施している。		ドライブ、外食、個別散策の支援をしている。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自由に電話を使用可。		ダイヤルをプッシュしてあげたり、手紙の宛名書きを手伝ったりの支援をしている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	時間制限もなく、いつでも誰でも気軽に訪問可。		家族、知人、友人、本人馴染みの人達の訪問を快く迎えている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	取り組んでいる。		必要に奈状況になってもきちんとご家族、Dr.などと相談し市町村などにも報告し行っていく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	かけていない。		防犯上必要な以外は今後も行わない。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	玄関やエレベーターの方への行動も止めるのではなく危険を伴わない事を確認する。		すぐ声を掛けず、さりげなく行動rを見守る。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	長距離歩行が不安定の人のために廊下の途中途中に椅子を置いてあげる。		長距離歩行が不安定の人のために廊下の途中途中に椅子を置いてあげる。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	知識を共有し状態に応じて対応している。特に喫煙場所の使用時間を決めたり、ライター、タバコの置場所の確認を確実にしている。		知識を共有し状態に応じて対応している。特に喫煙場所の使用時間を決めたり、ライター、タバコの置場所の確認を確実にしている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全ての職員が定期的に行っていない。	○	全員が定期的に行う必要有。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	公共機関のみに限られている。	○	今後近所(地域)の働きかける必要有。
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	話し合いを十分している。		議事記録等に残し今後の対応も一緒に考えていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	バイタルチェック、歩行等の身体観察を共有し主治医と連携をとって対応している。		水分量、食事摂取量、排泄状況を全員が把握し対応している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋を見直して把握したり、主治医から情報を得た事を共有し様子観察しながら症状の変化の確認に努めている。		服薬者によって症状、変化が違う為、全員で特に気を付けている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	全員で十分取り組んでいる。		食材、食事提供の仕方、水分摂取に気を配りながら体動を促している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	週／1回、歯科衛生士の指導を受けている。		毎食後、職員介入で支援している。 ※衛生士の指示に従って、できない所だけ援助する。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分量、その人に合った食事量、内容に気配りしている。		水分量、摂取量を明確にし排泄との関係にも気配りする。 又、栄養バランスと好物にも気配りする。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	医療と連携しながら施設内感染予防にあたっている。		全員でうがい、手洗い、清掃に気配りしている。 身体介護者と接する時は、予防着を着用している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理には十分気を付け二枚貝等は提供しない。		手伝い者には必ず手洗いを促し、同伴で作業をしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	花植えをして明るい雰囲気にして、玄関は鍵を掛けず開放的にしている。		畑、花壇、庭等を作り、天気の良い日は洗濯物等を干して、一般家庭と同様な雰囲気作りをしている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花を飾ったりして、皆が集まって来れる様、一人一人に合わせた居場所作りをしている。		花を飾ったりして、皆が集まって来れる様、一人一人に合わせた居場所作りをしている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下に少し隠れる場所や居間に小上がりがある。		仲間同志で楽しめる場所がある。 (廊下の少し隠れる場所)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が家族と相談して自分に合わせた居室作りをしている。		本人が家族と相談して自分に合わせた居室作りをしている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	居室に温度計の設置をしたり、換気をして空気の入替えをしている。		居室に温度計の設置をしたり、換気をして空気の入替えをしている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下、トイレ等、移動歩行する所に手すり有、床は滑らないフローリングにしてある。		廊下、トイレ等、移動歩行する所に手すり有。床は滑らないフローリングにしてある。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	できることの手伝いを促したり、洗濯、掃除をして頂く。		一緒に掃除、買い物をする。 洗濯機に操作手順を解かり易く番号を付けている。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	一緒に庭作り、畑作りをしている。		収穫は全員ができる様にしてある。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	②利用者の2／3くらい
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	④ほとんどない（入居者がゆったりとしていないので、ゆったりと過ごせない。）
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	②利用者の2／3くらい
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	②利用者の2／3くらい
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように（近所のボランティア、知人。）

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	③あまり増えていない
98	職員は、生き生きと働けている	②職員の2／3くらいが（入居者と楽しんでいる。）
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が（ここから何処にも行きたくないと話している。）
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が（いつも感謝している、協力してくれている、面会が多い。）

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）

入居者が自由に自分らしく、今までの生活を続けていける所、そしてたまには皆で楽しむこともあり、家ではないが居心地が良いから家族が面会に来てくれるのを待っててもいい所であって欲しいと思います。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	②利用者の2／3くらい
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	②家族の2／3くらい
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	③たまに

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	③あまり増えていない
98	職員は、生き生きと働けている	②職員の2／3くらいが
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	②利用者の2／3くらいが
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	②家族等の2／3くらいが

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）

入居者が自由に自分らしく、今までの生活を続けていける所、そしてたまには皆で楽しむこともあり、家ではないが居心地が良いから家族が面会に来てくれるのを待っててもいい所であって欲しいと思います。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	②利用者の2／3くらい
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	③利用者の1／3くらい（行きたい所が解からない。）
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	①ほぼ全ての家族
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように（近所のボランティア、知人。）

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	③あまり増えていない
98	職員は、生き生きと働けている	②職員の2／3くらいが（入居者と楽しんでいる。）
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	②利用者の2／3くらいが
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）

入居者が自由に自分らしく、今までの生活を続けていける所、そしてたまには皆で楽しむこともあり、家ではないが居心地が良いから家族が面会に来てくれるのを待っててもいい所であって欲しいと思います。